

こうざ えもんつうしん 平成 26 年 10 月 26 日
講左衛門通信 第 32 号

発行 天台宗忍草山東円寺
〒401-0511
南都留郡忍野村忍草38
☎ 0555-84-4114

『今日の話は、秋祭りの続きであったな。さて、クニマッスン質問じゃ。直会（なおらい）の意味をしておるか？』

『知っているでますん。直会とは、それまで神域にいた人々が、人間界に戻るための儀式でますん。直会の食事の材料は、神様に奉納した神饌を料理するでますん。その食事をいただくことで、様々なご利益をいただくことができるでますん。』

『感心じゃ。よく勉強しておるな。では、東円寺の袴脱ぎの儀式に出されている料理を知っておるか？』

『奉納された鱒は、から揚げになっているでますん。お供え餅は切ってお供物としてお土産に入っているでますん。それから、おにぎりに使われている海苔や、汁ものの具材の野菜など奉納された神饌を使って料理されているでますん。』

『そうなんじゃ。直会の意味を理解すると、袴脱ぎという儀式が意味深いものであることが分かったじゃろ。』

『神様に奉納された神饌が、例えば鱒はおいらの仲間ですん。お祭りを支えてくださった役員さんに喜んで食べてもらえたら、食べられた鱒も成仏できるでますん。良かったでますん。』

『さて、クニマッスンの誕生秘話を聞かせなくてはいかんのう。クニマッスは、山梨県水産技術センターで生まれたんじゃ。「クニマス」という魚は、秋田県田沢湖に生息していた魚なんじゃが、絶滅したと思われていたんじゃよ。しかし、70年ぶりに山梨県西湖に生息しておったことが2010年に確認されたんじゃ。大発見だったんじゃよ。また、2013年に、山梨県水産技術センターでは「クニマス」の完全養殖に成功したということを3月24日新聞で発表したんじゃ。クニマッスは養殖第一号なんじゃ。現代は情報化社会と言われるほど大量の情報が流れておる。情報を提供する側は、最新情報をいかに早く届けることができるかを考えているんじゃが、その情報を享受する側は、そのすべての情報を受けるとは出来ないんじゃ。さて、何が起こるか分かるかクニマッスン。』

『誰でも自分好みの新しい情報が欲しいでますん。興味のある情報だけを入手するでますん。そして、古い情報は忘れてしまうでますん。』

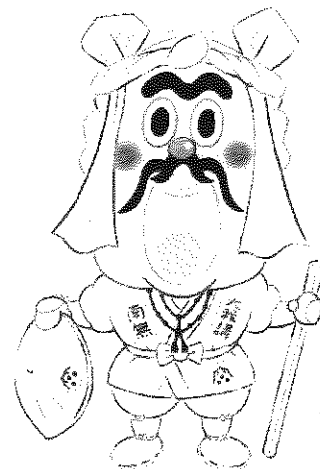
『そうなんじゃ。「クニマス」は貴重な魚なんじゃよ。その魚が山梨県西湖に、また、養殖を成功させた山梨県水産技術センターは忍野村にあるんじゃから、忘れられたら困るじゃろ。クニマッスの役目は、昔と今をしっかり伝える重要な役割があるんじゃよ。これからも頼んだぞ』

『おいら、何だか力が湧いてきたでますん。頑張るでますん。講左衛門さん、次回はどうなお話をしてくれるでますん？』

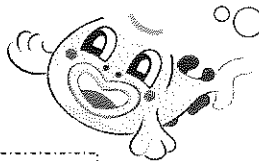
『10月3日に行われた「不二の祈り」の護摩供をしてくださった大阿闍梨様のお話をしようと思っておる。』

『楽しみでますん。』

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定



ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは案内責任者)



クニマッスン
出生地 忍野村
山梨県水産技術センター